



### 7度目の正直!!

決勝戦を前に「勝ちたい」「尻上がりに調子が出てきた」「夢の舞台、やるしかない」と気持ちをひとつにしました。みんなリラックスしてチームは最高潮、絶対やれると思えました。平成4年の初出場からやっと手にした栄冠。来年は連覇が目標!!

フェンシング全日本選手権で団体初優勝した秋田市役所チーム



おしゃべり

### 信頼される大人になりたい

成人式の実行委員は一生に一度の経験なので、とてもやりがいがあります。今は、式典で発表する誓いの言葉を考えている最中。当日は念願の振り袖を着て、リラックスして話せればと思っています。成人の日を機会に政治にも関心を持ちたいです。



「新成人のつどい」実行委員を務める酒井亜希子さん

かわらばこ

### 冬もセリオンへどうぞ

冬は空気が一番澄んでいて、地上100メートルからの景色は、どの季節よりも遠くまで見えるんですよ。大みそかは、オールナイト営業でイベントがいっぱい。除夜の鐘に合わせて108発の花火も打ち上げます。どうぞお楽しみに!! (詳しくは7面を)



セリオンで受付をしている菅原路子です



客席において握手、握手



市へ寄贈された東海林太郎の肖像画

## 東海林太郎生誕百年音楽祭 昭和の大歌手いつまでも

秋田市が生んだ国民的大歌手・東海林太郎さん(明治31年〜昭和47年)の生誕百年祭を締めくくる「音楽祭」が、誕生日にあたる十二月十一日、県民会館で開かれました。

この日は、作曲家の三枝成彰さんや歌手の田端義夫さん、ペギー葉山さん、岩本公水さんらがゲスト。楽しいおしゃべりや歌謡ショーで、県内外から集まった千八百人のみなさんと一緒に、昭和歌謡史に大きな足跡を残した先人の思い出にひたりました。「赤城の子守唄」など東海林さんお

馴染みのナンバーを披露した田端義夫さんは、「レコードを聴くたび、歌に情熱を傾けた東海林先生の姿が蘇ります。今日は、敬愛の気持ちを込めて歌います。」  
フィナーレは、画家佐々木壮六さんが描いた東海林さんの肖像画を前に、参加者全員で生誕百年の記念曲を合唱、盛況のうちに幕を閉じました。  
一唱民衆——東海林さんの座右の銘には、歌で人々を楽しませたいという気持ちが入められています。  
生誕百年の今年、数々の記念イベントがふるさと秋田を盛り上げました。まさに、「一唱民衆」の一年でした。



### 広報クイズ⑦

答えは12月11日、25日の「広報あきた」の記事中に

- 1 太平山は冬も魅力がいっぱいです。スキー場やザ・ブーン、木こりの宿もあるよ!!
- 2 今年の市政10大ニュースの1位は「石川市長の3選」でした。惜しくも2位になったのは?

応募方法 はがきに答えと住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を書いて、1月8日(金)(必着)まで、〒010-8560秋田市役所広報課へ。☎(866)2034

### 市政10大ニュースの当選者発表!!

応募総数は122通。残念ながら、10項目すべて当たったかたはいらっしゃいませんでした。7項目以上当たったかたの中から次の10人に図書券をお送りします。柏木武男さん(泉字道田)、柏木ヒサさん(同)、大石綾子さん(新屋朝日町)、斉藤ミツエさん(仁井田二ツ屋一丁目)、沢田石金一郎さん(大町一丁目)、沢田石つやさん(同)、成田信子さん(新屋栗田町)、渡部勝朗さん(牛島東七丁目)、小室忠男さん(大住二丁目)、佐々木紀子さん(將軍野南五丁目)

## 読者の伝言板

クイズの答えと一緒に、ほのぼのとした“ひとこと”を、お待ちしております。

路面凍結が気になる季節。そして、朝晩は暖房が。でも省エネを計画し、室温は二〇度以下に調整しています(土谷種子 61歳・飯島) 不注意から転んで、ようやく歩ける状態。ちょうど町内のごみの後かたづけの当番、お隣りは多忙な理容店ですが、代わっておそうじをしてくださいました。ありがとうございました(川尻八ツ工 79歳・大町) 八月に初孫誕生、十月に長男の結婚式とうれしいニュースがありました。孫に会えるのが私の一番の活力です(佐々木京子 54歳・新屋) 今年は初めての九州四国旅行に出かけ、見聞を広げてきました(小室忠男 61歳・大住) 秋田南大橋が開通したことで、私の生活が大変便利になりました。これからも便利な施設をお願いします(佐々木悦子 38歳・新屋) 今年は寅年の当たり年で、金婚式を迎え充実した日々を送っています。来年も健康で悔いのない人生を歩みたい(柏木武男 72歳・泉) 高齢者となる社会、何かひとつでもと、毎日体を動かしています(土谷猛 63歳・飯島) 学校のPTA広報を作っています。ときどき我が校の広報にまねさせていただけたいです(古木郁子 40歳・將軍野) 敬称略

係からひとこと  
12月17日から、今年4月以降に発行した広報あきたが、インターネットでも見ることができるようになりました。公開による一番のメリットは、なんといっても記事探しの簡単さ。「こんな記事、なかったかな?」というように、簡単にキーワードで探すことができます。ぜひ利用してみてください。  
また、広報課あてに、直接電子メールを送れるようにもなりました。広報あきたのご感想や問い合わせなど、どうぞ。  
(本問)